

進級・卒業判定基準について

進級判定に係る規程は下記のとおりであるので、留意すること。

【金沢医科大学看護学部教務に関する規程】

(進級の判定)

- 第11条 進級判定の基準となる成績は、その学年中に行った各科目の成績を100点満点で評価することとし、90点以上を秀、89点～80点を優、79点～70点を良、69点～60点を可、59点以下を不可とし、可以上を合格、不可を不合格とする。
- 2 進級判定は各科目の成績をもって行うこととし、その判定基準は別に定める。
 - 3 進級判定は第2項に基づき、看護学部教授会の審議を経て行う。
 - 4 進級を認められた者は速やかに公示する。

(再履修)

- 第12条 進級の認められなかった者は、原則として、その学年の全科目を再履修しなければならない。ただし、合格と評価された科目の履修の方法等については科目担当教員の申請により看護学部教授会の審議を経て決定する。

(卒業の判定)

- 第13条 卒業の判定は本学が定めた卒業要件単位数の修得とともに、看護学部教授会の審議を経て行う。

各学年進級判定基準

金沢医科大学看護学部教務に関する規程第11条第2項に基づき、進級の判定の基準を定める。

(進級判定基準)

1. 第2学年への進級判定基準

- ・第1学年前期・後期に開講している全ての必修科目並びに必要な選択科目の単位を修得していること。
- ・学年のGPAが2.0以上であること。

2. 第3学年への進級判定基準

- ・第2学年後期までに開講している全ての必修科目並びに必要な選択科目の単位を修得していること。
- ・学年のGPAが2.0以上であること。

3. 第4学年への進級判定基準

- ・第3学年後期までに開講している全ての必修科目の単位を修得していること。但し、保健師・助産師選択コースを履修する場合は、そのコースの選択科目の単位を修得していないと保健師・助産師の国家試験受験資格は得られない。
- ・学年のGPAが2.0以上であること。

【GPAについて】

総合順位は、必修科目のGPA (Grade Point Average) による順位で示します。

GPAとは、それぞれの科目の単位数と成績を基に算出したポイントであり、本学のGPA算出方法は下図のとおりです。

例として、必修全科目が100点の場合はGPAポイント6.0、必修全科目が60点の場合は2.0となります。

(GPA 算出方法)	
$\frac{(\text{素点}-40)}{10} \times \text{単位数} + \frac{(\text{素点}-40)}{10} \times \text{単位数} + \frac{(\text{素点}-40)}{10} \times \text{単位数} + \dots$	
<hr/>	
単位数の合計	